

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	診療情報管理士資格対策Ⅱ医学	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	診療情報管理士専攻科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	150時間
単位数	10単位	授業形態	講義		
教科書/教材	診療情報管理士テキストⅠ、診療情報管理士テキストⅡ、診療情報管理士問題集【医学】				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	照井裕子、小貫量代		実務経験の有無・職種	有・作業療法士	
<b>学習目的</b>					
<p>人体の基本的仕組みを系統的に理解すること(解剖学、組織学)と、その働き(生理学)を学び、生命の「いとなみ」の基本を理解することを目的とする。そのためには器官、臓器が構成要素であるどのような細胞、組織から成り立ち、いかに他の器官と連携を持ち、機能的にどのような連携作業をして、人体としてのいとなみに関わっているのかを理解する。これらの知識は、診療記録に記載されている内容の基本的な人体の部位、診断名の理解に必須である。また、疾病の機序や病態の理解、さらには実際に行われる治療手段の理解にも役立つ。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>人の身体を構成している体液・血液、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、内分泌・生殖器系、筋肉、神経系、感覚器系についての生理機能、各器官の機能と役割、これを構成する「細胞」や「分子」のはたらきに基づいて理解し、各器官系の正常な働きの仕組みを理解できる。また、診療情報管理士認定試験の「基礎医学」分野の内容を理解できる。</p>					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	診療情報管理士認定試験の「基礎医学」分野の対策として授業を行う。これまでに学んだ人体構造機能論、臨床医学について、更に詳細に説明を行う。各章ごとに問題を解きながら、それに関する解説をして理解を深める。				
注意点	<p>人の身体の仕組みを理解するには、まず、どこに何かあり、どんな動きをしているかを知るところからである。授業の中では問題を解き、その解説を行う。</p> <p>授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状態により内容が前後する場合がある。</p>				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト				
	レポート				
	平常点 (口頭・実技)	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	医療概論	医学と医療、医の倫理、脳死と臓器移植、診療情報提供、社会保障制度、医療制度を理解できる			
2回	人体の構造と機能	細胞、組織、器官、呼吸器・循環器・消化器・泌尿器系の機能と構造、上肢の骨と筋肉を理解できる			
3回	臨床医学総論	病気になる原因、先天奇形、変形および染色体異常、損傷、中毒、外因の影響が理解できる			
4回	感染症および寄生虫症	腸管感染症、結核、中枢神経系ウイルス感染症、ウイルス感染、ヒト免疫不全ウイルス病が理解できる			
5回	新生物	新生物、悪性新生物が理解できる			
6回	血液・代謝・内分泌	血液および造血器の疾患ならびに免疫機能の障害、内分泌、栄養および代謝疾患が理解できる			
7回	精神・脳神経・感覚器	精神および行動の障害、神経系の疾患、眼および付属器の疾患、耳および乳様突起の疾患を理解できる			
8回	循環器・呼吸器系	循環器の疾患、呼吸器系の疾患を理解できる			
9回	消化器・泌尿器系	消化器系の疾患、腎尿路生殖器系の疾患を理解できる			
10回	周産期系	妊娠、分娩および産じょく、周産期に発生した病態を理解できる			
11回	皮膚・筋骨格系	皮膚および皮下組織の疾患、筋骨格系を理解できる			
12回	医学・医療用語（1）	用語についての基本的な考え方、医療用語を理解できる			
13回	医学・医療用語（2）	用語についての基本的な考え方、医療用語を理解できる			
14回	医学・医療用語（3）	用語についての基本的な考え方、医療用語を理解できる			
15回	まとめ	これまでの授業の振り返り			